三河高原トレイルラニングレース　看護士手順書

本手順書は、三河高原トレイルラニングレースにおける看護士の動きについて解説する。

１．基本的行動

レーススタート（１０：３０および１０：５０）前に、看護士３名は２か所あるAS（エイドステーション）にそれぞれ１名ずつ、本部救護所に１名が配置。

レース終了（AS撤収）まで移動はしない。１６時に撤収。

２．移動手段

①会場まで

　自家用車：自家用車の場合は事前に駐車券を渡し、自力で会場入り。

　　　　　　大会用駐車場のいずれかをご利用ください。

　公共交通：大会専用シャトルバスを利用。（バスチケットは不要です）

　　　　　　名鉄本宿　7:30始発―8:30最終（随時発車）

　　　　　　JR新城　8:00始発－9:05最終（随時発車）

②会場集合：体育館内の会議室（本部救護所）に集合。９：３０

③AS移動：スタッフの車に同乗し、それぞれのASへ移動。（移動開始は１０時前ころ）

　　　　　　帰りもスタッフの車に同乗し会場へ。

④会場救護：体育館内の会議室にて救護待機。１６時、終了。

⑤帰り　：シャトルバスの最終発車時刻は本宿行、新城行、ともに１６時。

３．持ち物

スタッフ用の昼食（弁当）は当方で準備します。パックお茶もつきますが、それ以上の手配ができないため、必要であれば、個人的に飲み物、補助食などをお持ちください。

なお、会場、ASともにトイレはございます。

ASは野外となります。簡易テントはございますが、雨天に備え、雨具、長靴などをご持参ください。

４．救護内容

ASあるいは会場にてけが人などの手当て。基本的にはけが人を看護士のいる場所までスタッフが移動させますが、本人が動けない場合は、現場まで移動していただく可能性はあります。（スタッフが案内します）

また、緊急を要するとスタッフが判断した場合（意識がない場合）は、直接消防に救援を要請します。（地元消防には連絡済です）

それほど緊急を要さない場合は、看護士による手当後、新城方面の休日診療所等へスタッフが搬送します。

当方で準備している医薬品

冷却パック、湿布、マキロン、包帯、粘着テープ、傷ガーゼ、バンドエイド

虫さされ、テーピング用テープ、伸縮テープ、ポイゾンリムーバー、氷（会場のみ）

またAEDは会場、各ASに１台ずつ配置します。

過去救護を要した事例

切創（岩などで皮膚を大きく切られた。病院に搬送し、数針縫う程度）

蜂さされ（アレルギー症状がでたため、病院へ搬送）

体力低下（体調不良で途中で疲労。体をあたため、レース中断）

その他、脱水症状、捻挫、切り傷など。

■会場地区



■連絡先

大会責任者：新帯（しんたい）　090-1415-7792

本部責任者：小野（おの　　）　090-5855-4423

ご不明点問い合わせ先：　info@aichiol.com